研修名	自殺未遂者支援者研修 「若年層の自殺未遂者にどうかかわるか」
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師
開催日時	令和7年6月30日（月） 【基礎編】 13:00～15:00 講義 ～若年層の自殺予防の基礎知識～ 【実践編】 15:15～17:15 事例紹介 ～10代の若年者を中心に～（中・高・大学生）
開催方法	会場開催： 精神保健福祉センター 2階 講堂
参加者数	基礎編：40名 実践編：32名 （内訳：養護教諭・保健師・児童福祉司・心理職・教員・スクールカウンセラー・医師・相談員等）
研修内容	<p>【基礎編】 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の基礎知識 ・自殺者の心理状態 ・若年者の自殺の特徴 ・TALKの原則 ・市販薬乱用の問題 ・自傷、自殺の危機への対応 <p>・自殺の危険に関する評価 （SAD PERSONS スケール）</p> <p>・医療機関との連携 （精神科紹介時のスクリーニングシート・シート）</p> <p>【実践編】 事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討とロールプレイ ・意見交換、質疑応答
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の案件に対応する上で参考になる。 ・自傷から自殺既遂までの段階を具体的に学び、必要以上の不安を軽減できた。 ・自殺念慮を持つ人や自殺未遂者に対する対応方法を知ることができた。 ・状況判断の仕方を具体的に説明していただいたのが良かった。 ・緊急度について知ることができ、対応する際に過度に心配せずに支援できると思う。 ・ロールプレイを通して実際にどう声かけするかを考えることができて有意義だった。 ・ロールプレイを通して相談者の気持ちを体験できたのはいい機会だった。 ・相談者と支援者のロールプレイでは、相談者の反応の薄さや沈黙などが、かなりリアルな設定だったので、実際のケースを重ねながら進めることができて良かった。 ・意見交換の中で、いろいろな職種の方の意見を知ることができた。 ・自殺の危険因子を判断して、効果的にアプローチすることが大切。さらに、医療機関との連携の大切さがよくわかった。 ・他職種の参加者の事例に対して、先生の考え方、対応の仕方などを聞くことができたので、今後に活かしていきたい。